



すすんで学ぶ子
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和5年2月28日
第645号
枚方市立中宮小学校
校長 池原 義人



準備の学期、さあ最終月です



「塾通いは必要ですか？」

2月9日(木)・10日(金)に授業参観・懇談会を実施しました。2学期に引き続き、保護者に来校していただくことができました。どの学年も1年間の締めくくりとして、児童自身が学習の成果を発表する形式が多かったようです。参観された保護者からは、我が子の成長に「感動しました」と感想を伝えてくださる方もいらっしゃいました。

参観後の懇談会についても、たくさん参加していただくことができました。ある学年の懇談で、「塾通いは必要ですか」という趣旨での質問があったのですが、一様にこうですという回答は難しいと思います。ここまで何度もお伝えしている通り、家庭学習の習慣が身につけているようであれば、答えはもちろん「必要ありません」です。しかし、それがなければ、保護者のがんばりも必要になります。学年が上がれば上がるほど、そのがんばりも大きな力が必要になると思います。

今、本校において授業が成立しない学級や、教育課程に沿わないような授業をしている学級は一つもありません。学校での授業にしっかり参加して、その学年に見合った家庭学習をしていれば何の問題もありません。その辺りを、お子様と確認していただき、保護者の判断ということになると思います。

5年生福祉体験学習にて、「普通」って何かを考える

2月17日(金)5年生の福祉体験学習がありました。株式会社あんゆう(介護事業・自立生活運動・事業者のネットワーク)代表取締役社長の安田雄太郎氏に来校いただき、実体験をもとに社会福祉についてお話いただきました。安田氏は難病(SMA)により、3歳の頃から車いす生活であり、これまでの人生の中で感じたこと考えたことを基に、健常者と分け隔てられることなく暮らしていけるユニバーサル社会の実現に挑戦されています。

お話の中で、「普通とは何かを考える」という言葉がありました。「悩みの中のほとんどは、人と比べている」「違いを認め合っていくことは、排除をしないということ」等、心にぐさりと突き刺さるような言葉がいくつもありました。

お話を聴いて、「普通」という言葉を聴いて、忘れられない生徒との出来事を思い出しました。学級通信や学年通信に載せて、教え子たちに話してきたエピソードです。

これまでの校長通信の中で「追実施」の話を書いたことがありますが、嫌なことを逃げて済ませようとする生徒に何か感じてもらいたいという思いと、自分への戒めとして載せていました。(↓中学2年生を担当していたときの学級通信抜粋)

これも前任校の話なのですが、どうしても忘れられない出来事でした。担任はしていなかったけれど体育の授業を担当していた生徒Fくんのことです。生まれつき足に不自由のある生徒でしたが何事も一生懸命取り組み、不平不満や泣きごとを言わない生徒でした。しかし、その取り組み姿勢とは裏腹に結果はなかなか思うようにいきません。校内マラソン大会の出場について、教師側は無理をさせたくないという理由で見学するように勧めたのですが、「ゆっくり走るから」と参加を懇願しました。その意欲に押され参加を認めたのですが、当日走りだしたFくんは約束の言葉を忘れたかのように必死に走っていました。もちろん足をひきずりながら。教師みんなで「無理をするな」と声をかけるのですが、走り方は変わりませんでした。体育を担当していた先生自身も、このままゴールするのではと思っていた矢先、下り坂で転倒してうずくまっているという知らせがトランシーバーに入りました。結局、誰よりも力一杯走ったのに完走すらできませんでした。(友達としゃべりながらダラダラ完走した者がたくさんいるのに...)。その翌日から当分、車いすで生活しなければならなくなり、施設の整っていない学校だったので何日も欠席することになってしまいました。高校3年生の楽しみにしていた修学旅行でも、初日の昼から歩けなくなり、それ以後、旅行中はずっと車いすを友達に押しもらって過ごしました。

そんなFくんが卒業を目前にして、就職がなかなか決まらなかったとき、その会話から励ますつもりで「Fくんの将来の夢はなにや」と声をかけると、Fくんのこたえは「普通になりたい」でした。

マラソン大会で優勝したいわけでもなく、人よりよい就職を決めようとしていたわけでもなく、自分の力だけで普通に歩き、普通に修学旅行を楽しめること、それが何よりもの希望だったのです。

何度もためらったのですが、その是非を安田氏に相談し掲載を決めました。「普通」という言葉の意味を、ちゃんと伝えればよいのではないですかと助言いただきました。Fくんの言う普通と、安田氏が目指す普通が違うことしか伝えられません。「普通」とは何か、大切なことは何か、一緒に考えてくださるとありがたいです。